

## 目的

課題発見・探求能力、実行力といった「社会人基礎力」や「基礎的汎用的能力」などの社会人として必要な能力を有する人材を育成するため、大学は教育内容を充実し、学生が徹底して学ぶことのできる環境を整備する

「日本再興戦略」改訂2014—未来への挑戦—（閣議決定 平成26年6月24日）

・ギャップイヤー等を活用し、希望する学生が国内外で多様な長期体験活動を経験できる環境整備を推進する。

### 平成27年度新規メニュー

### テーマⅣ 長期学外学修プログラム(ギャップイヤー)

**入学直後等に、1ヶ月以上の長期の「学外学修プログラム」を開発・実施する大学のサポート体制整備を支援**

【活動例】 留学、インターンシップ、ボランティア、フィールドワーク、小中学校の教員補助、被災地支援、限界集落での活動

#### 学内体制整備

##### 全学を挙げた活動を実施

- ・学生支援、成果分析のための専門人材
- ・4学期制導入など、学事暦見直し

#### 事前・事後指導 カリキュラム整備

中身の濃い活動にするため、  
大学が積極関与

- ・語学、マナー、安全講習等
- ・プレゼンテーション等の短期集中学習
- ・学生による事前調査、計画立案補助

#### 国内活動支援

自らが企画したテーマに基づき活動

- ・安全管理
- ・活動期間中の指導

- 企画力や行動力、忍耐力、コミュニケーション能力の向上
- 学事暦変更による集中的な学びの実施・体験活動機会拡大

長期インターンシップ



長期ボランティア活動



○継続支援(H26～)

#### テーマⅠ アクティブ・ラーニング

学生の能動的な活動を取り入れた教授・学習法の実施により、認知的能力や教養等を含めた汎用的能力の育成を図る取組

#### テーマⅡ 学修成果の可視化

各種指標を用いて学修成果の可視化を行い、その結果を基に教育内容・方法等の改善を行う取組

#### テーマⅢ 入試改革

志願者の意欲・能力・適性を多面的・総合的に評価・判定する入学者選抜方法を開発・実施する取組

#### テーマⅣ 高大接続

高校・大学関係者が教育の目標や内容、方法について相互理解を図ること等により、高校と大学の教育の連携を強力に進める取組